

授業科目名	幼児と造形表現Ⅱ	大学名	作新学院大学女子短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月26日～1月27日）
学部・学科等	幼児教育科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	1学年以上	授業形態	演習
単位数	1単位	授業会場	作新学院大学 講義室
担当教員名	花田 千絵		
電話番号 （代表者名）	028-667-7111（大代表）	e-mail アドレス	hanada@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mailや電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 領域「表現」の特に造形指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身に付ける。さらに、基礎的な知識技能を活かし、実践することを想定した指導計画を立てる。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業内容と具体的な進め方> ・動画等の資料を通して子どもの表現の姿を学ぶ。 ・身の回りの素材を活用した基礎技法を教員の実演や参考作品から学んで実践する。 ・素材研究の次の製作では、造形表現活動の指導計画を立てることを想定して自らテーマ、材料、ねらいなどを考えて製作する。</p> <p><授業計画> 第1回：表現と評価、指導計画について 第2回：基礎技法（6）スクラッチ 第3回：基礎技法（7）ステンシル 第4回：季節の感触遊び 第5回：自己紹介ツールの製作 第6回：油粘土の基本 第7回：生活素材の研究 第8回：生活素材による製作 第9回：生活素材を使った造形遊び（紙コップ） 第10回：一枚の紙から（折り紙） 第11回：紙漉き体験 第12回：光と影の造形 第13回：段ボール素材の研究 第14回：段ボール素材による製作 第15回：授業全体のまとめ 定期試験は実施しない。</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書：コンパス 保育内容 表現（島田由紀子・駒久美子著、建帛社） 参考書：幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、保育所保育指針（平成29年告示 厚生労働省）、幼保連携型こども園教育・保育要領（平成29年告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）</p> <p><成績評価法> 学習内容の理解度を確認する小テスト・振り返り（50%）、基礎技法ファイル（50%）。</p> <p><教員からのメッセージ> 実習で実践することを想定し、造形表現の指導計画案を考えていきます。</p>		